



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 三洋工業株式会社

コード番号 5958 URL <http://www.sanyo-industries.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 菊地 政義

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長

(氏名) 小宮山 幹生

TEL 03-3685-3451

四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	18,729	2.1	563	210.4	627	152.3	567	208.0
24年3月期第3四半期	18,347	3.5	181	—	248	—	184	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 612百万円 (259.2%) 24年3月期第3四半期 170百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	16.29	—
24年3月期第3四半期	5.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	22,025	11,019	48.6	307.30
24年3月期	22,790	10,583	45.1	295.10

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 10,698百万円 24年3月期 10,275百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	2.50	2.50
25年3月期	—	2.50	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	1.6	550	△17.2	650	△13.4	500	△11.7	14.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
(注)詳細は、(添付資料)3ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	35,200,000 株	24年3月期	35,200,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	384,191 株	24年3月期	380,046 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	34,818,376 株	24年3月期3Q	34,821,403 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてのその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第 3 四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第 3 四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成24年4月～平成24年12月）におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要に支えられ景気は緩やかな回復傾向にありましたが、欧州債務危機の長期化による海外経済の低迷や中国をはじめとする新興国経済の成長鈍化、さらには長引く円高基調など、景気の先行きは依然として不安定な状況で推移いたしました。

当社グループの関連する建築業界におきましては、政府による住宅取得支援策の効果や低金利を背景に、新設住宅着工戸数が底堅く推移し、民間非居住建築物においても着工床面積が対前年実績を上回るなど改善の動きが見られましたが、伸び率は限定的であり、経営環境は依然として厳しい状況にありました。

このような状況の中で当社グループは、主力重点商品や成長戦略商品の販売強化に加え、設計指定活動や新規顧客開拓に注力するほか、コスト競争力の向上を図るため、仕入価格や製造加工費等の継続的な低減活動を推し進めるなど、全力で収益の確保に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高18,729百万円（前年同期比2.1%増）となり、利益面では、営業利益563百万円（前年同期比210.4%増）、経常利益627百万円（前年同期比152.3%増）、四半期純利益567百万円（前年同期比208.0%増）となりました。

セグメント業績は、次のとおりであります。

なお、前連結会計年度より、報告セグメントを従来の「三洋工業」、「システム子会社」及び「スワン商事」の3区分から、「スワン商事」について量的な重要性が乏しくなったため、「三洋工業」及び「システム子会社」の2区分に変更しております。

前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

①三洋工業

主力製品群である軽量壁天井下地につきましては、戸建住宅用の製品が住宅着工戸数の伸長に伴い好調に推移しましたが、ビルや商業施設用等の製品においては、依然として厳しい市況環境の中で受注量が落ち込んだことなどから、軽量壁天井下地全体の売上高は減少となりました。

床システムにつきましては、主力製品であるスポーツ施設用の鋼製床下地材製品が、学校体育館等の復旧・改修工事の受注増により売上高が堅調に推移したほか、集合住宅用の遮音二重床下地材製品においてもマンションや病院・福祉施設等を中心に工事受注の改善が見られました。また、環境配慮型製品である分別リサイクル可能なスチール製OAフロアや再生木材を使用したデッキフロアなどの受注量も好調であったことなどから、床システム全体の売上高は増加となりました。

アルミ建材につきましては、緊急対応的な復旧工事に落ち着きが見られたことから、エキспанション・ジョイントカバーの売上高が減少に転じましたが、主力製品であるアルミ笠木や手すりおよび外装パネルなどが新築・改修物件等に幅広く採用されたことなどから、アルミ建材全体の売上高は増加となりました。

この結果、売上高は15,217百万円（前年同期比0.4%増）、セグメント利益365百万円（前年同期比489.7%増）となりました。

②システム子会社

当社の子会社であるシステム会社（株式会社三洋工業九州システムほか）におきましては、主力取扱い製品である鋼製床下地材製品が、復旧・改修工事を追い風に売上高が増大したほか、耐震天井やシステム天井、さらには環境配慮型製品であるデッキフロア等についても、社会的にニーズに対応した製品として市場に受け入れられ、システム会社全体の売上高は3,897百万円（前年同期比15.3%増）、セグメント利益は129百万円（前年同期比167.5%増）となりました。

③その他

その他につきましては、売上高639百万円（前年同期比1.7%増）、セグメント利益は30百万円（前年同期比46.6%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、主に現金及び預金や商品及び製品が増加したものの、受取手形及び売掛金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ765百万円減少し、22,025百万円となりました。

負債につきましては、主に支払手形及び買掛金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ1,200百万円減少し、11,006百万円となりました。

純資産は、当第3四半期連結累計期間が四半期純利益となったことにより、前連結会計年度末に比べ、435百万円増加し、純資産合計は11,019百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間において、利益面に関しては、ほぼ通期の連結業績予想となりました。しかしながら、景気の先行きは依然として不安定な状況で推移しており、現時点において平成24年5月11日発表の数値に変更はありません。

なお、通期の業績予想につきましては、現在精査中であり、業績予想等の修正が必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて記載しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。なお、この変更が損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,216	3,345
受取手形及び売掛金	11,629	8,857
有価証券	469	469
商品及び製品	1,790	2,751
仕掛品	100	92
原材料及び貯蔵品	758	697
繰延税金資産	24	28
その他	60	62
貸倒引当金	△156	△141
流動資産合計	16,891	16,163
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,767	1,784
機械装置及び運搬具(純額)	488	510
土地	2,389	2,360
その他(純額)	178	105
有形固定資産合計	4,822	4,760
無形固定資産		
投資その他の資産	33	44
投資有価証券	356	375
繰延税金資産	3	3
その他	834	803
貸倒引当金	△151	△124
投資その他の資産合計	1,042	1,057
固定資産合計	5,898	5,862
資産合計	22,790	22,025

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,843	6,567
短期借入金	884	934
未払法人税等	163	135
賞与引当金	292	48
役員賞与引当金	22	16
その他	996	1,353
流動負債合計	10,202	9,055
固定負債		
社債	300	300
繰延税金負債	15	33
退職給付引当金	1,286	1,220
その他	402	396
固定負債合計	2,004	1,950
負債合計	12,207	11,006
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,760	1,760
資本剰余金	1,168	1,168
利益剰余金	7,428	7,821
自己株式	△106	△107
株主資本合計	10,250	10,642
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24	55
その他の包括利益累計額合計	24	55
少数株主持分	308	320
純資産合計	10,583	11,019
負債純資産合計	22,790	22,025

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	18,347	18,729
売上原価	13,976	13,901
売上総利益	4,371	4,827
販売費及び一般管理費	4,189	4,263
営業利益	181	563
営業外収益		
受取利息	6	4
受取配当金	9	9
受取賃貸料	82	95
その他	28	30
営業外収益合計	126	140
営業外費用		
支払利息	12	13
不動産賃貸費用	44	57
その他	2	5
営業外費用合計	59	76
経常利益	248	627
特別利益		
固定資産売却益	—	128
受取保険金	48	—
特別利益合計	48	128
特別損失		
固定資産除却損	7	30
災害による損失	34	—
施設利用権評価損	2	—
特別損失合計	44	30
税金等調整前四半期純利益	253	725
法人税等	61	143
少数株主損益調整前四半期純利益	191	581
少数株主利益	7	14
四半期純利益	184	567

四半期連結包括利益計算書
第 3 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	191	581
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20	30
その他の包括利益合計	△20	30
四半期包括利益	170	612
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	163	598
少数株主に係る四半期包括利益	7	14

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。